

卒業生アンケート結果報告 34

〈連載コラム〉これからを考える 37

在学生アンケートにご協力ください 39

聖徳通信掲載用 在学生アンケート「レポート&科目終了試験」

掲載原稿について(お詫び)

『聖徳通信10月号』69ページ(Schooling Press 2012=聖徳教育=)に掲載させていただきましたコメントに訂正がございます。こちらで編集を行う際に間違った表現で明記をいたしました。お寄せいただきました学生の方に不愉快な思いをさせてしまいましたことを深くお詫び申し上げます。

〈訂正後コメント〉

単に知識を伝えようという姿勢に止まらず、先達の「志」を伝えようとする熱意を感じた。

日本文化学科 茨城県在住

※10月号には「先達者の志」とありますが、正しくは上記の通り「先達の志」です。





卒業生アンケート結果報告

回答人数81人/104人(回答率78%)
(一部未回答あり)

今年度9月に卒業した大学、短大のみなさんを対象にアンケートを行いました。日頃の学習時間や、普段の学習場所、スクーリング時の宿泊場所、職場や家族の協力等についてお答えいただきました。

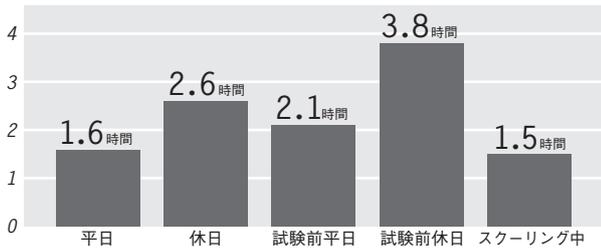
本誌ではその一部をご紹介します。同じ通信教育に取り組んでいた方々の学習状況を、参考にしてみてください。



学習時間について

毎日習慣的に学習をされる方が多いようです。試験の予定がない平日は1時間から2時間が最多で、スクーリング中の平均は1.5時間でした。

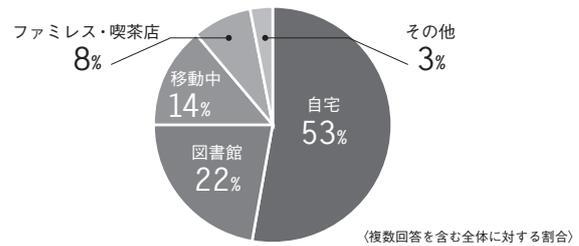
日常生活とのバランスを考慮した上の、効率的な学習が理想といえるでしょう。



学習場所について

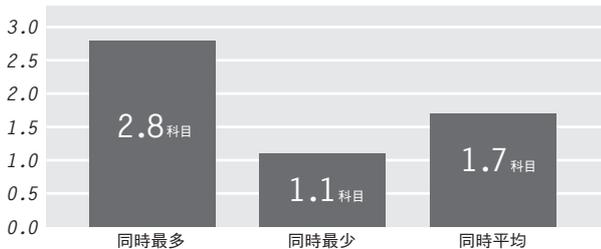
自宅、図書館、店(喫茶店等)、移動中、その他の5ヶ所で割合を教えてくださいました。

自宅が占める割合は半数以上で、図書館が22%、移動中が14%、喫茶店等が8%程度でした。家を中心に時間によって使い分ける方も多いようです。



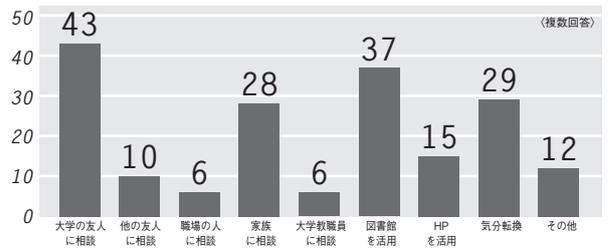
同時進行は何科目？

どのくらいの科目数を同時に学習していましたか？という質問をしました。「最多」ではスクーリングにあわせて集中的に取り組む方が多く、少なくとも1科目は進めているという方がほとんどでした。同時に進めることが、目標に近づくことが卒業への第一歩です。



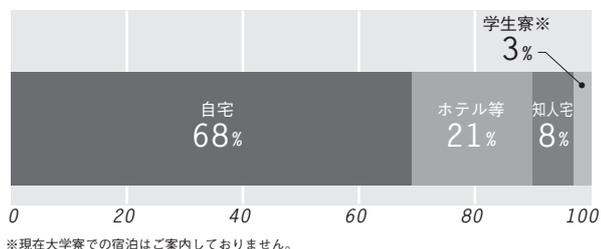
学習に行き詰まったときは？

普段学習で行き詰まったときはどのように解決していますか？という問いにほとんどの人がまわりの人に相談すると答えました。その他、図書館やインターネットを利用して解決の糸口を探す方や、一時的に別のことをして気分転換をするなどさまざまな方法で乗り越えていたようです。



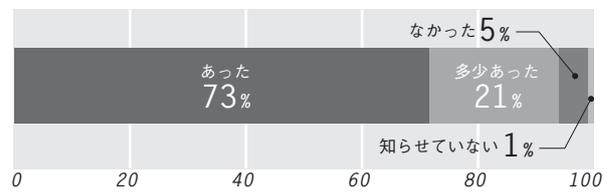
スクーリング時の宿泊場所

スクーリングは、松戸の立地が都内からも近いという理由で、自宅から通うという方が68%。宿泊施設に泊まることで、気分転換とやる気につながるという声も多く聞かれました。



卒業生の声 職場や家族の協力は？

- スクーリングの間、両親が子どもの面倒をみてくれた。
心理学科 30代 女性(大阪府在住)
- 実習中は夫が洗濯をしてくれました。居間でのピアノ練習に、家族は文句を言わず寛容に応援してくれました。
保育科 30代 女性(茨城県在住)



一人で学習していると、どこを目指して勉強するのか分からなくなってしまうことがあります。仲間をつかって情報交換をしたり、励まし合ったりすることで最後まで頑張れました。通信だけど、充実した学生生活が送れました。仲間って大事です。

英米文化学科 女性 (広島県在住)

とにかく学習を、切羽詰まった気持ちではなく、楽しんで行うことが大切だと思います。自分の興味のあるものだとどんどん頭に入るとは思いますが、「あと何日で試験だ…」という気持ちが先走ってしまうとなかなか身に入らなくなってしまうと思います。あとは同じ目標を持つ学校の友人と相談し合うことです。少人数でもよいと思いますが(実際私も1~2人でしたが)、試験のことについて話したり、将来のことについて話すと、やる気が倍増します。

児童学科 女性 (東京都在住)

自分の周りは普段、同業や同世代の人が多く、大学を通して様々な世代や職業の人と関わりをもつことができ、とてもいい経験になりました。普段一人で勉強することが多く、自分も一人での学習を好んでいましたが、やはり限界はあって、色々な人とコミュニケーションをとり、情報交換していった方がいいと思いました。

また、あまり周囲の方は活用していなかったけど、質問票が役に立ちました。出題している先生の生の声が聞けるし、スランプになっていたりヒントが欲しいとき活用できました。質問票で文献を聞いたり、スクーリングのときに聞きもらったことをきいたり、学習を深めることができました。ぜひ使ってみてほしいです。

心理学科 女性 (埼玉県在住)

同じ科目のレポートに三度不合格をもらったときは、いったい何が求められているのかわからず行き詰まってしまうました。しかし、合格をもらった友達に相談し、視野を広げてレポートを書き直すことができました。相談し合える仲間がいたのはとても心強かったです。

英米文化学科 女性 (三重県在住)

試験日をチェックして、○月○日はどの科目を受けるか、目標を立てます。そのためにはいつまでにレポートを提出するかを把握し、文献を集めます。私の場合は文献集めとそれを読むのに約2週間、レポートの下書き、構成に約1週間、本書きは約3日間ぐらいの感じで進めて行きました。

心理学科 女性 (神奈川県在住)

試験やレポートが不合格だった時、その瞬間は落ち込みましたが、今思えばその結果からどう学び直すかを考える貴重な体験になりました。これはまた自分が何故、通信教育を受けたかったか…その原点を問い直すきっかけにもなりました。

質問の意図を十分に把握した解答は、教科書や講義、資料を十分に読み込まずには成し得ず、何回か挑戦して何とか合格できた時の喜びは大きいものでした。

レポートの行き来は学習を深化させてくれました。

心理学科 女性 (千葉県在住)

科目終了試験に初めて落ちた時に(不合格)、先生からのアドバイスを(レポート上)もとに、もう1度テキストや他の文献を読み、試験に臨みました。

3科目連続の試験は体力的にも大変でした。こういう時は何を書くかを頭の中でまとめておき、試験でスムーズにペンを運べるようにしました。

児童学科 女性 (神奈川県在住)

本など文献が見つからない時は、大学の図書館にこもっていました。探している本は必ず見つかると思うので行ったほうが良いと思います。

心理学科 女性 (東京都在住)

実習の時は、実習録を書くのにとっても苦労しました。学校の友人に書き方を教えてもらったり、責任実習の指導案の書き方を相談しました。困った時や、悩んだ時は、やはり同じ状況にいる学校の友人に相談するのが一番だと思います。話を聞いてもらうだけでも、全然違います。

保育科 女性 (千葉県在住)

とにかく学習時間を作るのに苦労しました。子育て、仕事、勉強の毎日で、少しの空いた時間も無駄にしないよう、勉強の本などはいつも持ち歩いていました。仕事の休憩時間を利用して勉強していたこともありました。少しの時間でもコツコツ勉強することが一番大切だと思います。

また、計画表(学習の)を一年間分作って、自分で締切りを作って、勉強しました。自分なりに目標を立てて勉強をしていくといいと思います。

保育科 女性 (茨城県在住)

続けていれば、必ず卒業の日がくるので、強い信念をもって頑張ってください。

保育科 女性 (神奈川県在住)



卒業を迎えた感想&在学生へのメッセージ

最初は苦手な教科でも繰り返し読むうちにだんだんと面白くなり、理解できるようになります。結果は努力次第でついてくるものと信じて諦めないことです。

社会福祉学科 女性 (神奈川県在住)

自戒をこめて思うのですが、単位や学位の取得だけを目的にやっつけ仕事のように学習を続けているとしたら寂しいと思います。卒業後の自分は、入学前の自分とは確実に違っているはず！という気持ちと気概をもって、頑張ってください。

とはいえ真夏と真冬のスクーリングは身体に負担のかかるもの。健康第一に素敵なキャンパスライフをお送りください。

心理学科 女性 (千葉県在住)

勉強がものすごく苦手で、文章を目で追うのも嫌で、マンガ本ですら読んだことがありませんでした。そんな私が大学を卒業し、資格を取ったらすごい！！と思って始めました。

何もやり遂げたことがなく、自信のあるものは一つもなかったので、自分の為に必死で頑張って全てを終了することができました。私にとって簡単なものではなく、スムーズには進まなかったし自信は全くなかったです。でもとにかく卒業したら「こんな私でもやればできるんだ！！」と思えるし、自信につながると思い頑張りました。在学中の皆さんもどうか自分に負けずに頑張ってみてください。やりとげた感動を味わってステキな大人になりましょう。

児童学科 女性 (東京都在住)

受け身では何もはじまらないのが通信教育です。自分の目的をしっかりと認識し、やるだけのことをやって困ったら、事務局、先生、仲間に助けを求めすることもできます。私達は知らない、分からないから学びにきたのです。自分と向き合い、こなしていけば自然と卒業できます。感謝。

心理学科 女性 (千葉県在住)

4年間ここで学べた事は本当に良い経験になりました。

10代の頃学生だった時と違い、高い意識を持つ社会人学生が多く、お互いに刺激し合い学べた事は私の宝物です。

卒業した後に学びをどう活かしたいかを思いながら学習すると良いと思います。これからもここでの学びを忘れずに勉強を続け、大学院進学を目指したいと思います。本当にお世話になりました。

心理学科 女性 (神奈川県在住)

一人での学習は時に「これでいいんだろうか？」と不安になります。大学での友人は私にとって大きな励みになりました。是非、相談できる友人を見つけてください。

職業のちがう人達と沢山接することができ、多面的に物を見ることができ、私にとって大学の友人は大きな財産となりました。

心理学科 女性 (宮城県在住)

行き詰まったり、辛かったりしましたが、卒業を迎えられると、本当に感無量です。頑張ってください。

児童学科 女性 (千葉県在住)

目標に向かって計画を立て、知識を得ることに喜びを見出せば、卒業は近づいてくる。

心理学科 女性 (埼玉県在住)

何度も同じレポートで不合格になり、嫌気が差してしまうこともありましたが、でも繰り返し継続していれば必ず卒業できると分かったので、諦めず頑張って欲しいです。

心理学科 女性 (埼玉県在住)

通信で学んだことは、確実に実になります。モチベーションを維持するために、楽しみや息抜きができることとのバランスを大切に、夢をもって取り組んでください。結局は、全てどうにかするのは自分なので、自分の力を信じて頑張ってください。

保育科 女性 (千葉県在住)

レポートや科目終了試験の勉強の意義が見い出せなくなるのが私には度々ありました。迷いながらも、自分が目指す道に向かってあせらず、しかし着実に一步一步進んでいくことが私を成長させてくれたのだと卒業を迎えた今はそう思えます。暗いトンネルを歩いているような気持ちの方も、ゴールする時には、自分を誉めてあげたい気持ちでいっぱいになりますよ！！

保育科 女性 (茨城県在住)

一歩でもいいので進んで頑張ってください！！

保育科 女性 (東京都在住)

諦めなければ、何でも出来る！！最後には、自分の力になって返ってくる。

保育科 女性 (千葉県在住)

これからを^考える。

聖徳大学の学びのフィールドは広く、あらゆる方面に実績を残しています。

各学科の教員が発信する、さまざまな学問分野の魅力がたくさん詰まった“連載コラム これからを考える”をお楽しみください。

07 日本文化学科 教授
那須 雅熙

〈担当科目：資料組織演習Ⅱ、児童サービス論、図書館特論、図書館概論、児童サービス論、情報資源組織演習Ⅱ〉

「知の宇宙」

つい先日、本学のエレベータの中で耳にはさんだ学生の会話がとても気になりました。「貴女の図書館情報コースって、よく分かんないのよね。歴史とか文学とかとは違うのでしょう。」わがコースの学生も困惑した顔つきで、返答に窮していました。

確かに、図書館情報学は歴史的に年若い学問で、ディシープリンとしてまだ確立されたものではないかもしれません。「図書館学」がドキュメンテーションやコンピュータの発達を受けて、情報科学分野との連携により「図書館情報学」になり、さらに情報を中心とした「情報図書館学」や図書館のとれた「情報学」の提案などパラダイムの変化にさらされているのが実情でしょう。図書館情報学とは、一体どんな学問で、何のためにあり、どのような役に立っているのでしょうか。図書館や人間の情報関連諸活動のためにある実学と明言し、またそれだけでもないと主張する人もいます。

いずれにしても図書館情報学は、図書館というものがそうであるように、古今東西の学問が行き交う「知の宇宙」で、文化・知的情報資源を総合し、新たな文化的創造を支える

可能性の学問であると言えましょう。

最近の社会の変化に対応する知的インフラとして、図書館がこれまでになく重視されています。

これからの図書館の在り方検討協力者会議がまとめた報告書「これからの図書館像—地域を支える情報拠点をめざして」では、公共図書館サービスに求められる新たな視点として、①図書館活動の意義の理解の促進、②レファレンスサービスの充実と利用促進、③課題解決支援機能の充実、④紙媒体と電子媒体の組合せによるハイブリッド図書館の整備、⑤多様な資料の提供、⑥児童・青少年サービスの充実、⑦他の図書館やその他関係機関との連携・協力、⑧学校との連携・協力、⑨著作権制度の理解と配慮が挙げられています。これに呼応して、大学で学ぶ図書館に関する科目も、今年度から大きく変わりました。



図書館情報学は、新たな文化・知的情報資源（書物、コンテンツ、知識）を開発・活用できる仕組みを構築する知識科学として生まれ変わる必要がありそうです。どのような戦略のもとに、全体の情報資源を収集、組織化、保存し、知的サービスを展開するかという各論の検討が急務です。

あの学生や通信教育部の皆さんにも、胸をはって「こんな学問であり、こんなすごいことに役に立っている」と言ってもらえるようにしていきたいものです。

08 英米文化学科 准教授
腹部 千代子 (担当科目: イギリスの歴史、現代イギリス事情、文学概論)

「揺るぎない自分の核を持つこと」

以下の英詩は、アメリカの女性詩人エラ・ウィーラー・ウィロックス (Ella Wheeler Wilcox, 1850-1919) 作、「運命の風」("The Winds of Fate")である。

The Winds of Fate

One ship drives east and another drives west

With the selfsame winds that blow.

'Tis the set of the sails

And not the gales

Which tells us the way to go.

Like the winds of the sea are the ways of fate,

As we voyage along through life :

'Tis the set of a soul

That decides its goal,

And not the calm or the strife.

運命の風

一そうの船は東へ進み、もう一そうの船は西へと進む

吹いている同じ風を受けていても

私たちに進むべき方向を示してくれるものは

帆の姿勢であって

暴風ではない

運命の方向は海の風に似ている

私たちが人生を旅する時に

その行き先を決めるのは

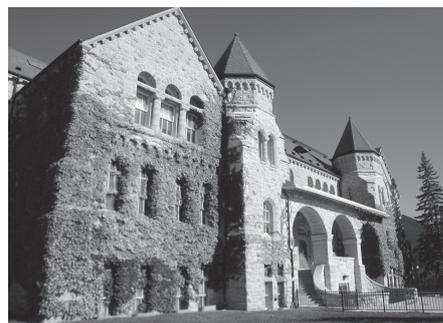
魂の姿勢であり

風や嵐ではない

この詩の第1連では帆を上げて海の上を進んで行く船の様子を描き、第2連では私たちの人生を船の旅にたとえている。そして、船の場合にも人間の場合にも、自分の進むべき道を決めるのは、自分を取り巻く環境ではなく、自分自身の心の姿勢で

あるということを書いて表している。船の旅も人生も、常に順風満帆な旅が待っているとは限らない。嵐にも遭うだろうし、氷山にぶつかる可能性もあるだろう。私たちの行く手には何が待ち受けているか、私たちには全くわからない。しかし、どんなことが起ころうとも、強い信念を持ち、自分の進むべき道を突き進むことが大切であるというメッセージを、この詩から読み取ることができるだろう。

通信教育部で学ぶには強靱な精神力が必要である。途中で挫折しそうになった人もたくさんいるだろう。心が弱くなった時には、「自分はなぜこの道を行くのか」と大いに迷うこともあるだろう。だが、他人と同じ方向に無理に進まなくてもよいではないか。自分がよしと決めた道ならば、最後まで突き進めばよいではないか。そして、いかなる道に進もうとも、何よりも大切なことは、ぶれない自分の核、揺るぎない自分の信念を持つことである。「自分はなぜここにいるのか」— この問いに対する確固とした答えを常に心の奥底にしっかりと持っていることが大切であり、それはまた、今の道を選んだ自分の持つべき責任でもあると思う。



アンケートにご協力ください。
切り離して手順通りに折り、そのままポストに
投函してください。

オンライン聖徳通信アンケートにもご協力ください。
http://www.seitoku.jp/tk/tk_info/tk_info.html

こんにちは『聖徳通信』です！

『聖徳通信』では、学習上で役立つ情報のさらなる充実を目指し、アンケートを定期的に行っております。
今回のテーマは「**レポート&科目終了試験**」です。以下の項目にしたがって、回答してください。回答できる項目だけでも結構です。聖徳通信を通して学友のみなさんと情報交換をしましょう。
※強制するものではありません。

◆学科および在住県 _____ 学科 _____ 県在住(掲載必須)
◆氏名(イニシャル可) _____ (掲載可能な場合のみ記載)

Q1 レポートを作成する上で悩みがあればお聞かせください。

A1 []

Q2 レポート作成で印象に残っている科目はありますか。

A2 科目名: []
理由: []

Q3 科目終了試験に向けて何時間勉強をしていますか。おもな学習場所も教えてください。

A3 <時間>
平日平均 _____ 時間(主な学習時間帯 _____ 時~ _____ 時)
休日平均 _____ 時間(主な学習時間帯 _____ 時~ _____ 時)
<場所>
家 図書館 電車やバスなどの移動中 喫茶店・ファミレス
その他(_____)

Q4 科目終了試験に向けてどのような学習をしていますか。

A4 []

Q5 科目終了試験で行き詰った時、どのように解決しましたか。

A5 []

●今後取り上げて欲しいテーマやご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。

[]

ご協力ありがとうございました。
通信教育学務課 『聖徳通信12月号』アンケート係

点線のままののりをつけて、
のりしろ②にはりつけてください。

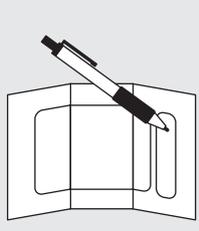
キ
リ
シ
ー
ロ

点線のままののりをつけて、
のりしろ②にはりつけてください。

キ
リ
シ
ー
ロ

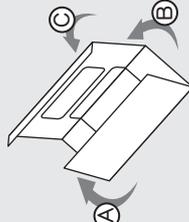
アンケートの郵送手順

1



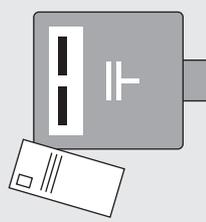
本誌から切取り
アンケートを
ご記入ください。

2



のりを塗り、
④③②の順番で
折り込んで
ください。

3



切手を貼らずに
ポストに投函
してください。

FAXでも受付けています

アンケートは郵送だけでなく、FAXでも受付けています。
下記番号までお送りください。

聖徳大学 通信教育学務課

FAX047-331-7422

ヤマ折り

②ヨリ

ヤマ折り

271-8750

千葉県松戸市岩瀬550
聖徳大学5号館2階

聖徳大学 通信教育学務課
聖徳通信アンケート係行



料金受取人払郵便

松戸支店承認

1030

差出有効期限
平成26年2月
25日まで
(切手不要)

ヤマ折り

この部分を折って封をしください。